



中村まさ子の区議会レポート

2020年11月7日発行

編集・発行 市民の声・江東 136-0072 東京都江東区大島 8-4-1 tel 03-3636-1031 fax 03-3636-1033 製作協力 樹花舎 印刷 山猫印刷所
e-mail: usausa@js5.so-net.ne.jp HP: <http://www.asahi-net.or.jp/~jv6m-nkmr> ブログ: <http://ameblo.jp/marousa51/>

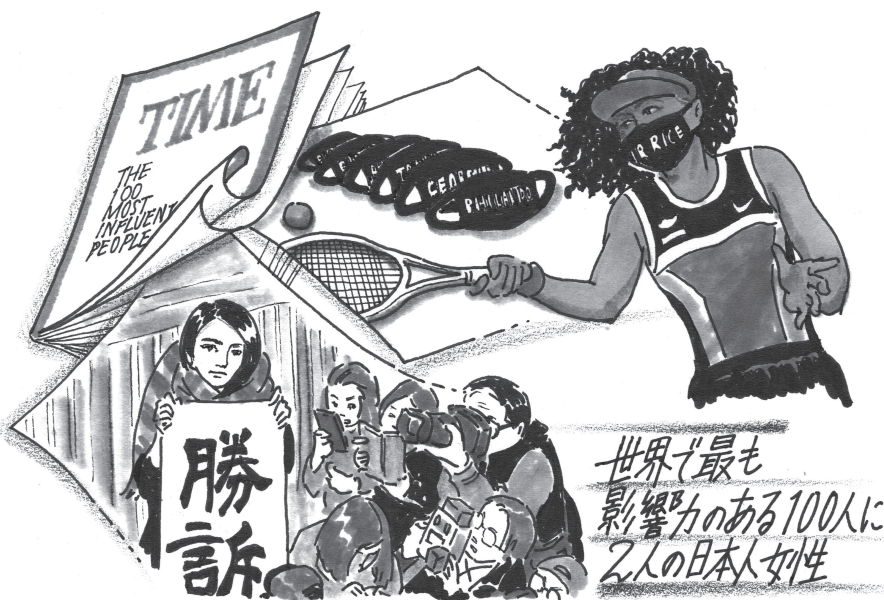


イラスト / yukiko A

区政報告会&講演のご案内
十二月四日(金)
午後六時半から午後八時半
会場：江東区総合区民センター
第五会議室(講演会：資料代500円)
午後八時半～ 区政報告会
午後七時半～ 講演：江東の子ども食堂
会場に人数制限があるため、参加
ご希望の方は3636-11033
までファクスで申込下さい。

伊藤詩織さんと大坂なおみさん

9月、アメリカの「タイム」誌で「世界で最も影響力のある100人」が発表され、日本からは伊藤詩織さんと大坂なおみさんが選ばれた。

伊藤詩織さんは性暴力の被害を受けたことを公表し、昨年12月加害男性を告発した民事訴訟で全面的に勝訴した。加害男性は安倍政権に近かったジャーナリストで、判決を不服として控訴したそう。この事件についてはイギリスBBCが伊藤さんのドキュメンタリー番組を放送し、海外でも知られるようになった。

「タイム」誌の紹介文で社会学者の上野千鶴子さんは「伊藤さんは性被害を告発することで、日本人女性たちに変化をもたらした。日本人女性たちにも#MeToo運動に加わることを後押しし、性暴力に抗議するフラワーデモにも火をつけた」と評価している。性暴力は魂の殺人と言われているが、2017年に改正された刑法でも被害者を守るには不十分で、多くの性犯罪で加害者が無罪になっている。伊藤さんの渾身の抗議で、女性たちが声をあげる勇気をもった。この状況を変える力となるだろう。

伊藤さんは現在ジャーナリストとして、性暴力だけでなく、世界の人身売買、難民、障がい者、途上国の感染症、政権批判への弾圧などを取材し、発信し

ている。昨年は枝川朝鮮学校で開催した木村元彦さんの講演会にも足を運んでくださった。彼女の聡明で真摯なまなざしには受けた傷の深さと勇気を振り絞ってたたかってきた誇りを感じる。

一方、大坂なおみさんは2020年の全米オープンで、警官や人種差別の暴力で犠牲になった7人の黒人の名前を書いたマスクを連日身に付けて出場した。そして2回目の優勝を果たした。大坂選手の行動に対して、スポーツ選手の政治的発言を不快に思う一部のファンもいたが、大きな影響力を持つトップアスリートとしていつまでも続く黒人虐殺に黙っていることはできなかっただろう。彼女は試合後のインタビューで、伝えたかったメッセージは、と問われて「あなた方はどんなメッセージを受け取ったのですか」と逆に聞き返し、聞いている私たちの意識を揺さぶった。

大坂なおみさんの行動によって日本でも7人の名前や、どのように亡くなったのか報道され、ブラックライブズマター(BLM)の背景の深刻さが伝わってきた。

2人の若い勇敢な女性によって、差別され黙らされてきた少数者が声をあげるきっかけが広がった。遠いところ起きた、自分とは関係のない話ではない。

2020 年区議会

第 3 回定例会

9 月 25 日～ 10 月 23 日

第 3 回定例会に補正予算第

5 号が提出されました。例年、

補正予算は 1 回、または 2 回

ですが、今年度は新型コロナウイルス

ウィルス対応のため半年で 5

回目の補正予算です。

予算審査特別 委員会での質問

補正予算第 5 号

総額 56 億 9 1 0 0 万円

のうち財政調整積立基金
27 億 5 3 0 0 万円、公共施設
建設基金に 7 5 0 0 万円を積
み増す。コロナ禍で区民の不
安が消えないなか、基金に積
むのではなくもっと区民のた
めに使ったと指摘した。

住居確保給付金の拡充 6 億 4 2 0 0 万円

(中村) 8 月末までの給付金の
申請数は 8 3 7 件となり、す
でに昨年度の 1 0 倍以上となっ
た。12 月には給付金が打ち切
られる人が出てくるが、その
後の支援策は。

(保護課長) 就労や生活の相
談を実施しているが、難し
い場合は生活保護制度を案
内する。給付金の期間の延
長については国の動向も注
意する。

(中村) リーマンショック以上
の深刻な不況が懸念される。
年末年始も開庁して支援や相
談に対応するべきではないか。
(保護課長) 予測できないと

ころはあるが、状況を見な
がらきちんと対応していく。

高齢介護サービス 事業所緊急支援

(中村) 高齢者施設の新規入所
者などに対して PCR 検査費
用 5 4 0 0 万円を計上してい
るが、施設職員の定期的な検
査も必要ではないか。

(福祉課長) 効果が認められ
るところに補助する。職員
の検査をしたい施設は都の
補助を活用してほしい。

(中村) クラスタが発生した
施設では大量の廃棄物が出て、
処理費用がかさんだ。区が支
援できないか。

(長寿応援課長) 都の「サー
ビス継続支援事業」で補填
されるので、該当施設には
案内している。

決算委員会

2 0 1 9 年度決算は歳入総
額 2 0 2 8 億円、歳出総額は

1 9 7 5 億円と
なり、ともに前
年比 4・6% 増。
また貯蓄にあた
る基金残高は
1 3 4 8 億円と
過去最高を示し
た。

これまで区民
福祉の向上のた
め、もっと基金を
使うことを提案
してきたが、コ
ロナ禍の今こそ基
金の出番ではな
いだろうか。加
速する貧困問題、

介護や保育を支える労働者の待
遇改善、地域保健や医療の充実
など、私たちの税金を使うべき
課題はたくさんある。

DV 被害者支援措置 制度について

昨年度の江東区の DV 相談
は 5 3 0 0 件を超えていた。ま
た、DV の被害者が区に申し
出て、加害者に転居先の住所

中村まさ子の収支報告 (2020 年 7 月～ 10 月)

		7 月	8 月	9 月	10 月
収入	議員報酬	610,000	610,000	610,000	610,000
	費用弁償	—	3,000	9,000	24,000
支出	所得税	35,820	35,820	35,820	35,820
	住民税	55,300	55,300	55,300	55,300
	国民健康保険料	82,000	82,000	82,000	82,000
	共友会	2,000	2,000	2,000	2,000
	生活費、活動費	300,000	300,000	300,000	300,000
	退職積立金	60,000	60,000	60,000	60,000
	活動積立金	30,000	30,000	30,000	30,000
	共に歩む会へ	44,880	44,880	44,880	44,880

★費用弁償は見直しを求めています。被災地や区外の社会貢献団体への寄付などに使
います。

を隠す支援措置制度を申請し
た人が 1 2 0 0 人以上だった。

今年になって、支援措置を
受けている被害者の住所が行
政の対応ミスやシステムの欠
陥によって加害者に知られて
しまう事件が何件か起きてい
る。

これまで、江東区で被害者情
報の漏洩で深刻な被害は出て
いないが、江東区の現在の取り

◆主な議案への対応〈件名の（ ）内は中村のコメント〉

件名	自	民政	公明	あ維未	共産	他無所属			市民の声 (中村)
						見山	千葉	さん	
補正予算5号(本文参照)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2019年度決算〈一般会計、国保会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計〉(基金の活用、貧困対策、介護の総合事業など不十分)	○	○	○	○	×	○	○	○	×
文化センター、体育施設等の指定管理者の指定(これまでと同様の区文化コミュニティ財団、区健康スポーツ公社、江東スポーツ施設運営パートナーズを指定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保育所の指定管理者の指定(白河かもめ、豊洲、潮見、小名木川保育園について引き続き同じ事業者を指定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
児童館の指定管理者の指定(公設公営できた小名木川児童館を指定管理にすることに反対)	○	○	○	○	×	○	○	○	×
障がい者福祉センターの指定管理者の指定(引き続き江東区社協を指定)	○	○	○	○	×	○	○	○	○
グランチャ東雲、老人福祉センターの指定管理者(それぞれYMCA、ワーカーズコープを指定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

組みを確認し、職員研修や情報漏洩対策を求めた。

マイナンバー制度について

7月に発表された骨太の方針では「デジタル化の推進」が示され、2021年にマイナンバーカードを保険証として利用、22年度末までに全住民にカードを交付、という工程表が報道されている。

しかし、10万円の特別定額給付金のオンライン申請は混乱を極めて中止した自治体が多かった。番号制度の目的である行政運営の効率化、公正な給付と負担の確保、国民の利便性は実現しておらず、国が期待したほどマイナンバー制度は広がっていない。

区職員のカード取得率は23・6%で、区民の26・5%に疎い高齢者やIT環境を整えられない人たちは置き去りにされていくことが懸念される。今のようなデジタル化を進めることは反対だ。

ふるさと納税について

昨年度、江東区から他自治体に出ていったふるさと納税額は24億円にのぼった。反対に江東区に入ってきたふるさと納税は78万円。

江東区はふるさと納税について返礼品を提供するのではなく、「障がい者スポーツの振興」「無料学習支援教室」「がん患者や家族のサポート」などの事業に充てている。

豪華な返礼品競争をめぐっては全国的に批判が集まり、裁判にもなった。この8月、特別区長会は山崎孝明会長名でふるさと納税制度の問題点を指摘し改善を求める緊急声明を発表している。

私もふるさと納税は税制度の根幹を歪める危険性があると感じている。地方財政が厳しいことは理解しているが、ふるさと納税という返礼品で誘う「寄付」に頼るのではなく、税源正を図るのが国の役割ではないだろうか。

より低い。区は取得を強制していない、という答弁だったのでそれは了とした。

この他、「江東区の自殺対策」「アスベスト対策」「介護保険の総合事業」を取り上げて質問した。

防災・まちづくり・交通対策特別委員会

委員会では「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所の運営について」が報告された。感染防止のため体育館では100人程度しか受け入れができません、教室や文化センター、スポーツセンターなどの活用が想定される。

また水害時の避難行動要支援者の避難では、垂直避難(上階への移送)も災害協力隊に要請する。高齢者の災害時ケアプランについて区の取り組みを質問したが「介護保険のサービス担当者会議で話し合っている」という答弁だった。区が方針を示すべきではないだろうか。



8月 仙台東川公園の現状について区職員から説明を受ける

新型コロナウイルス感染状況の情報公開、江東区はこれでいいの？

新型コロナウイルスの感染はとどまるところを知りません。どのような人がどんな状況で感染し、どのくらいの人が入院しているんだろうか？そして退院した人は？そんな数字を知りたいとは思いませんか。徒に恐れるのではなく、現実をしっかりと把握するためにもう少し詳しい情報は必要だと考えられます。しかし残念ながら、江東区の「新型コロナウイルス感染症関連情報

報」のページではこういったことを知る事ができません。何度か「区長への手紙」で詳細な情報公開を求めましたが、判でおしたように「風評被害を防止する責務から差し控えさせていだいております」という回答がかえってくるだけです。

おとなり江戸川区の「新型コロナウイルス感染症 区内における発生状況」をご覧ください。毎日、発

生患者数（前日との比較）、累計入院者数（増減）、療養患者数（増減）、回復者数（増減）、死亡者数をみやすく提供しています。江戸川区はこのような情報公開に先立ち、「江戸川区新型コロナウイルス感染症の患者発生公表についての方針」を作成、公表しています。2020年3月6日付けです。彼我の差はどこにあるのでしょうか。「感染症流行時は、明確な情報ほど重要な予防手段などないのだから」。イタリアの作家・パオロ・ジヨルダノの言葉です。（花村健二）

2020 年中村まさ子の活動日誌（抄）		
7月	4日	都知事選応援
	9日	市民の声・江東コロナ対策会議
	10日	こども食堂運営事業者連絡会
	11日	共に歩む会定例会
	21日	村田文雄さんの思いをつなぐ会会議
	23日	都知事選振り返り会議
	24日	キルトクラブうささ、市民の声・江東定例会
	25日	区政報告会、稲葉剛さん講演会
8月	1日	市民の声・江東コロナ対策会議
	5日	防災・まちづくり・交通対策特別委員会、思いをつなぐ会会議
	6日	沖縄と連帯東京東部集会会議
	8日	共に歩む会定例会
	10日	市民の声・江東コロナ対策会議
	11日	原発 1000 万人署名会議
	12日	仙台堀川公園視察
	14日	こども食堂会議
9月	26日	キルトクラブうささ、市民の声・江東定例会
	3日	村田文雄さんの思いをつなぐ会会議
	4日	講演会『介護崩壊を防ぐ 北砂ホームの経験に学ぶ』
	6日	関東大震災中国人受難者追悼式
	10日	認知症学習会
	11日	子どもクリスマス会会議
	12日	フードパントリー、共に歩む会定例会
	13日	江東アクション会議
	17日	区政勉強会
	18日	キルトクラブうささ
	20日	講演会「社会的養護を考える 保護された子ども…その後」
	22日	福島原発震災情報連絡センター会議
10月	25日	第3回区議会定例会（～10月23日）、市民の声・江東定例会
	7日	江東アクション会議
	8日	村田文雄さんの思いをつなぐ会会議
	10日	福島原発震災情報連絡センター総会、共に歩む会定例会
	14日	中学生勉強会会議
	15日	区政勉強会
	16日	子どもクリスマス会会議
	19日	原発署名会議
	23日	市民の声・江東定例会
	24日	枝川朝鮮学校支援都民基金会議
	25日	講演会「自治体 LGBT 施策を考える」
	27日	区労連の対区交渉
	29日	村田文雄さんの思いをつなぐ会
	30日	キルトクラブうささ

まにわ尚之のふくしーく

連載第6回

本人の意思を尊重する

今回のテーマは、「介護はだれのものか」です。すぐく基本的な問いかけですが、これがなかなか曲者なのです。

答えを先に言うと、「介護はそれを受ける人のもの」です。当たり前じゃないかと思うかもしれませんが、しかし、はたして介護を受ける本人が自分で介護サービスを選び取っているでしょうか。家族が介護サービスを決めていますか。

「ケアマネジャー（ケアマネ）」という専門職がいます。ケアマネは、要介護者ひとり一人を担当し、介護の計画を立てる人です。しばしば、「ケアマネが家族の言うことを聞かない」という嘆きを耳にします。ただ、これはある程度しかたがないことです。というのも、ケアマネは、家族の声ではなく、お年寄りの希望を聞く仕事なのです。原則として福祉・介護職は、家族の意向よりお年寄りの希望を優先するべきです。

江東区生まれ江東区育ち（北砂出身）のまにわ尚之です。障がい者施設に勤務する、現役福祉職員です。いま注目の福祉情報をお伝えしていきます！

先ず存在なのです。たとえば、お年寄りが自宅で生活することを望んでいたなら、家族が老人ホームに入所させてほしいと言っても、なんとか自宅の生活を継続させるのが、よいケアマネです。いま福祉の世界で「意思決定支援」という言葉がさかんに唱えられています。これは、福祉職員が利用者の意思を尊重して支援していく、という概念です。かつてあった本人の意思がぜんぜん反映されず、自身の生活全般が家族やそのほかの人に決められてしまうことへの大きな反省に立っています。

2013年に日本が批准した障害者権利条約のスローガンは、「私たち抜きに私たちのことを決めないで」です。家族や支援者による決定への抵抗が表明されています。

介護は、それを使う人のものです。家族・支援者の都合ありきではありません。第一に、本人意思が尊重されなければなりません。それをふまえ、諸事情をすり合わせ、本人が納得のもと、その人らしい生活に向けた自己決定を支援するのが福祉的支援の理想です。

